

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

牧野富太郎の業績と植物の観察眼を紹介 ミニ企画展「牧野富太郎と植物を観る眼」開催のご案内

国立科学博物館（館長 篠田 謙一）において、来る令和5年12月19日（火）から令和6年1月8日（月・祝）まで、ミニ企画展「牧野富太郎と植物を観る眼」を上野本館にて開催いたします。

牧野富太郎は、日本の植物に最も多くの学名をつけた日本人で、日本の植物学の基礎を築いた人物です。牧野の観察眼によって描かれた植物画は美術的にも高い評価を得ており、今日の植物画のルーツとも言えます。また、最近ではNHKの連続テレビ小説「らんまん」（NHK 2023年前期・作 長田育恵）の主人公のモデルとして描かれたことも記憶に新しいと思います。

当館筑波実験植物園では、植物の観察眼を養い表現することを推奨する植物画コンクールを毎年開催し、入選作品を企画展「植物画コンクール入選作品展」にて展示しておりますが、このたび牧野の「植物を観る眼」に主眼をおいたミニ企画展を上野本館にて同時開催することで、植物画の普及に繋げることを意図しました。



劇中に使用された植物画
「スエコザサ」 米田薫

是非、この機会に広報に関して特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

取材をご希望の方は、下欄のお問い合わせ先にご一報ください。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当： 稲葉祐一、中山瑠衣

担当研究員： 細矢 剛（国立科学博物館 筑波実験植物園 園長）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<https://tbg.kahaku.go.jp/>

※牧野富太郎（1862～1957）

高知県高岡郡佐川町生まれ。幼少から植物に興味を持ち、小学校を自主退学して独学で植物を学んだ。上京し、東京大学理学部植物学教室への出入りを許され、植物分類学の研究に打ち込み、日本植物分類学の基礎を築いた。94年の生涯において収集した標本は約40万枚といわれ、その一部は、国立科学博物館にも所蔵されている。また、自ら創刊に携わった「植物学雑誌」に論文を発表するとともに、日本各地で植物観察会を実施し、日本の植物相解明に貢献しつつ、植物学の一般への普及にも尽力した。代表作である『牧野日本植物図鑑』は、現在でも研究者や愛好家の必携の書ともなっている。1953年東京都名誉都民。1957年文化勲章受章。

ミニ企画展「牧野富太郎と植物を観る眼」実施要領

1. 名称 ミニ企画展「牧野富太郎と植物を観る眼」
2. 主催 独立行政法人国立科学博物館
3. 協力 日本植物園協会 高知県立牧野植物園 練馬区立牧野記念庭園
4. 会期 令和5年12月19日（火）～令和6年1月8日（月・祝）
5. 場所 国立科学博物館 上野本館 日本館1階 中央ホール
6. 展示構成

本展覧会では、次の5章から、牧野の人となりと植物を観る観察眼について解説します。

1) 牧野富太郎ってどんな人

パネルにより、その人となりを紹介します。

2) 牧野富太郎の植物を観る眼

国立科学博物館に所蔵されている、牧野が採集した植物標本と描いた植物画の代表作（複写）を展示し、当館の研究員が解説を加えます。

3) ドラマ「らんまん」の植物たち

連続テレビ小説「らんまん」（NHK 2023年前期・作 長田育恵）で使用された植物レプリカと、ドラマのために作成された、植物画家・米田薫氏による植物画を複数展示します。植物監修を行った当館研究員による制作秘話もご紹介。

4) 植物をじっくり観てみよう

牧野のように植物画を描くためには、まず植物をじっくり観察することが大切です。ここでは葉に注目し、その多様性や観察ポイントを図解と実物でご紹介します。

5) 国立科学博物館の附属施設に行ってみよう！

生きた植物を観る上で絶好の場所となる当館の附属施設、筑波実験植物園と附属自然教育園を紹介します。

7. その他（国立科学博物館主催 第40回植物画コンクール入選作品展）

1) 日時：令和6年1月27日（土）～2月12日（月・祝）

会場：国立科学博物館筑波実験植物園 茨城県つくば市天久保 4-1-1

2) 日時：令和6年7月2日（火）～7月21日（日）

会場：国立科学博物館上野本館 東京都台東区上野公園 7-20

3) 日時：令和6年9月下旬～11月上旬 予定

会場：国立科学博物館附属自然教育園 東京都港区白金台 5-21-5